

取組事例③ 都市拠点機能の整備及び補てん型から利用型の公共交通体系の構築 (夕張市)

人口減少に対応する都市機能の集約を促進するため、今後将来の都市拠点となる清水沢地区に子育て支援機能や交通結節点機能を持った拠点複合施設の建設を進めている。また、JR廃線等による市内交通体系の維持のため、デマンドバス等を導入した。

関連数値目標・KPI ※代表的なものを記載

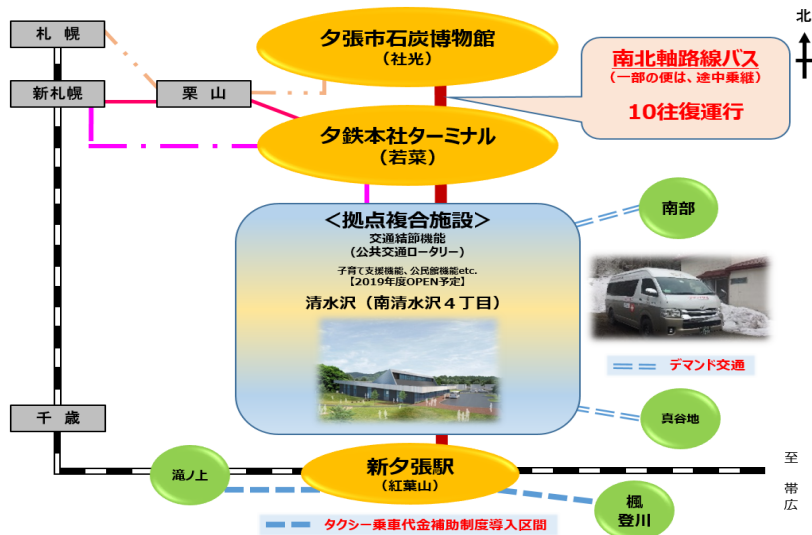
	基準値 (H26)	実績 (H30)	目標値 (R元)	進捗率 (%)
交通結節点の構築	0	1	1	100

取組の推進体制

拠点複合施設については、平成30年度に着工し、令和元年度供用開始予定である。

新たな公共交通体系の整備については、平成25年3月に策定した「夕張市生活交通ネットワーク計画」に基づき、交通体系の効率化、デマンド交通の導入・運行等を実施している。

新たな公共交通体系



取組事例

拠点複合施設の整備

○主な取組

- ・ H28年度：市民を交えた検討チームを設置し基本計画を策定
- ・ H29年度：建設用地を取得、基本計画に基づいた基本設計、実施設計を実施。
- ・ H30年度：建設工事の着工



新たな公共交通体系の整備

○主な取組

- ・ デマンドバスの導入
- ・ タクシー乗車代金補助制度の導入
- ・ JR廃線に伴う路線バスを中心とした交通体系の構築
- ・ 仮設交通結節点 (バスまちスポット) の設置
- ・ 予約型スクールバス (ピコピコシステム) の導入



○主な成果

- ・ デマンドバス登録者数 260人
- ・ タクシー乗車代金補助制度登録者数 90人
- ・ JR石勝線夕張支線 1日5往復→路線バス南北軸 1日10往復
- ・ ピコピコシステムの導入により、年間約130万円のコスト削減と冬期の増便を実現